

すぎなみにほんごかいわかい 杉並日本語会話の会

NO.74 2018年6月
まいしゅうようび ふんごんじんじゆぎょう
毎週 火曜日 90分 個人授業
(ごぜん・ひる・ごご ぶせい)
(午前・昼・午後 3部制)

れんらくさき
連絡先: TEL 090-8489-4452

<http://suginaminihongokaiwa.blog.fc2.com/>



ふるさと自慢

インドネシア



Sさんのふるさとはインドネシア。東南アジア南部に位置し、赤道直下、高温の気候です。国土は日本の5倍、

190 km²。世界一の17,500 の島があります。人口は2億7,000万人、世界4位。300の民族に34の民族衣装、会話言語は707もあり、独自の語彙、文法を持ちます。紅白の



▲サテー ▲ビーフ・ルンダン

国旗の赤は勇気と情熱、白は真実を表しています。Sさんの育った首都ジャカルタは人口

1,050万人、東京から7、8時間。通勤の車、バイクの渋滞が深刻です。インターネットアクセス



▲ジャカルタ

数が世界5位で、生活を便利にするアプリ GO-JEK (ゴジェック) が大人気で、バスタクシー利用、デリバリー、掃除、マッサージと、何でも屋のようです。“Fortune”の「世界に影響をもたらす企業2017」にGO-JEK社は17位にランキングされました。



▲ナシトゥンペ

次は食べ物です。サテーは焼き鳥のようなもの。ビーフ・ルンダンはCNNトラベルによる世界で最も美味しい料理一位に選ばれました。



▲リウエタン

ナシトゥンペはジャワ島の祝いの時の料理。リウエタンは東ジャワの料理。ランブータンはライチに似たもっと甘味の強い果物。



▲ランブータン



▲ボロブドゥール

スリカヤはパイナップルとバナナを合わせたような味でとても甘いです。野生動植物が数多く生息していて、ラフレシアという花は世界最大の



▲スリカヤ

花でトイレのような臭さを持ち、直径が1m、重さは10kgもあります。

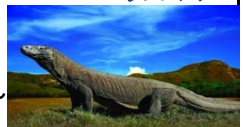


▲ラフレシア

また、コモドドラゴンは、世界最大級のトカゲの仲間。全長3mで、

体重は100kg。のこぎり状の歯を持ち危険で、人も食べます。

バリ島以外の観光地として世界三大仏教遺跡の一つ、ボロブドゥールを紹介し



▲コモドドラゴン

ます。1,200年ほど前に建てられたジャワ島中部にある世界最大級の寺院でユネスコ世界遺産に登録されています。



▲タナトラジャ

次は南スラウェシ州にあるタナトラジャ。ここに暮らすトラジャ族は、人が亡くなると一対の水牛の角を飾る習慣

があり、祖先が渡来した方向、北向きに建つトンコナンという

伝統的な家屋の屋根は水牛の角を表します。亡骸は一年以上置き、その後

入れをして岩穴に安置します。墓の前にはタウタウと呼ばれる故人や家族に似せた人形を飾ります。

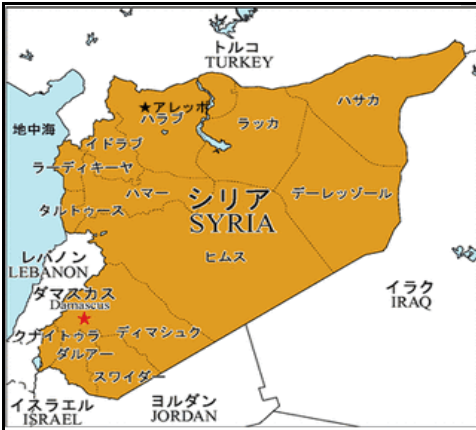
最後はラジャアンパット、ウェストパプア州にある世界有数の



▲ラジャアンパット

ダイビングエリア。サンゴ礁が美しく、多様な海洋生物が生息しています。

この団体は「杉並区」の後援を受けて活動しています



ふるさと自慢

シリア ~わが心のふるさと~

昨年3月からこの会に来ていているTさんは韓国生まれのアメリカ人。アメリカでは、小学校の時4度、中学で5度、大学で4度、転校しました。住まいもロスアンゼルス、シアトル、ハワイ、そしてヨーロッパ、アフリカトルコなど多くの国を巡りました。言葉も、韓国語、フランス語、英語、日本語を話します。



自分はまるでジプシーのようだと思っています。そんななかで、私が家に帰ったような気がする『心のふるさと』といえるシリアのお話をします。シリアには何度も行きましたが、内戦開始後は2011年に行きました。いまはアメリカのパスポートでは渡航できません。内戦前は平和で人々も親切で子どもたちも可愛い大変美しいところでした。



シリアは地理的には中近東に位置し、北にトルコ、東にイラク、そしてヨルダン、レバノン等の国と接しています。国境近くにはベドウィンなども生活しています。



シリアの歴史をお話します。古代シリアはバビロン等の古代5大都市文明の影響を受けた大変歴史のあるところ。近世ではフランスに支配されていました。首都のダマスカスは世界最古の都市といわれ、また、厩跡(旅人の宿泊所)やヨハネの聖堂など多くの名所、旧跡があります。そして、シリアは英語のアルファベットの発祥地ともいわれています。イラクとの国境近くのシリアの砂漠には、ローマ時代の有名なパルミナの遺跡があります。大変素晴らしいものですが、残念ながら内戦中にISISにより破壊されてしまいました。また、古都アレッポも大変美しい街でしたが、内戦で大部分破壊されてしまいました。



私は2年ほど前、難民救済のため、日本人と一緒にシリアに行きました。学校で、英語や日本の折り紙を教えたこともありました。



シリアが内戦中でもあり、いまは『心のふるさと』は日本と考えています。

▲シリアの紙幣

▲写真(内戦前のシリア)

- ・アレッポの伝統的なフルーツジュース店
- ・アレッポの有名なスーク
- ・ローマ時代の古代遺跡/パルミラ
- ・イラク国境近くのラクダ農場
- ・ラッカ(ISISの旧首都)

(6月12日の特別授業より)



この団体は「杉並区」の後援を受けて活動しています